

起因物（小）別コードno.144 締固め用機械労働災害発生状況

業種別締固め用機械労働災害発生状況（1999-2021年）

業種	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
010101 肉製 品、乳 製品製 造業																								
010102 水産食 料品製 造業																								
010103 農業保 存食料 品製造 業																								
010104 パン、 菓子製 造業																								
010105 酒類製 造業																								
010106 飲料 （酒類 を除 く）製 造業																								
010109 その他 の食料 品製造 業																				1				1
0101 食料品 製造業																				1				1

0201	石炭鉱業																				
020201	採石業				1																1
020202	砂利採取業																				
020209	その他の土石採取業																				
0202	土石採取業				1																1
020301	金属鉱業																				
020302	石油等鉱業																				
020309	その他の鉱業 -その他																				
0203	その他の鉱業																				
02	鉱業				1																1
030101	水力発電所等建設工事業																				
030102	トンネル建設工事業									2						1					3

0301	土木工 事業		128	92		74	73	61	68	61	74	50	53	43	58	50	49	37	34	43	34	33	1,115	
030201	鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋 建築工 事業		9	5		2	9	7	6	5	4	4	6	3	3	3	2	3	1	6	3	5	86	
030202	木造家 屋建築 工事業		2	4		1		5	4	3	2		3		1	4	2	1	2	1			35	
030203	建築設 備工事 業		2	1		1	2	1	1		1	2	2	3	1	2			1	1		2	23	
030209	その他 の建築 工事業		7	4		1	3	6	3	5	1	3	1	1	4	5	3	1	5	2	2	2	59	
0302	建築工 事業		20	14		5	14	19	14	13	8	9	12	7	9	14	7	5	9	10	5	9	203	
030301	電気通 信工事 業		1	2											1					1		1	6	
030302	機械器 具設置 工事業			1									1				1						3	
030309	その他 の建設 業－そ の他		4	4		3	5	2	2	3	3	1	4		3	3	2	3	3	3	3	5	5	58

0303 その他の建設業			5		7			3	5	2	2	3	3	1	5		4	3	3	3	3	4	5	6	67
03 建設業			153		113			82	92	82	84	77	85	60	70	50	71	67	59	45	46	57	44	48	1,385
040101 鉄道・軌道業																									
040102 水運業																									
040103 航空業																									
0401 鉄道・軌道・水運・航空業																									
040201 ハイヤー・タクシー業																									
040202 バス業			1																						1
040209 その他の道路旅客運送業																									
0402 道路旅客運送業			1																						1
040301 一般貨物自動車運送業			7		5			3	2	2	1		2	1	2	1	2	2	1						31

2012	12	13 ～ 14	被災者は、路床の締固めを機械で転圧作業中、誤って約5m下に落下した。	30106	1	10 ～ 29
2012	2	17 ～ 18	道路舗装工事現場において、片側通行にして舗装工事を行っていた際、交通誘導を行っていた被災者は、車両の誘導作業中にローラーの後方に立ち入り、アスファルト転圧中のローラーが後進したためローラー後部車輪に轢かれた。	170201	6	30 ～ 49
2013	5	11 ～ 12	被災者ら2名は、タイヤローラーを使用して中学校のグラウンドの整備を行っていたが、グラウンド上で被災者があお向 けで倒れている状態で発見された。なお、被災者が運転していたタイヤローラーは、被災者から約18m離れた位置 で、フェンスにぶつかる状態で停車していた。	60209	7	50 ～ 99
2013	8	15 ～ 16	道路舗装工事業業中、現場内で作業しているタイヤローラと一般車両が接触しないよう誘導していた被災者は、現場 に隣接したドラッグストア店舗駐車場から出てきた一般車両をよけるためタイヤローラの後進方向に立ち入り、何ら かの原因でうつぶせに転倒した際、タイヤローラーが後進して被災者の左半身に乗り上げた。	170201	7	100 ～ 299
2013	1	13 ～ 14	林道を整形、舗装する工事現場において、幅員約3.5メートルの道路をタイヤローラーで走行中、路肩からタイヤ ローラーごと約3メートル下の谷藪に転落した。	30106	1	10 ～ 29
2014	11	11 ～ 12	埋設電線管路の撤去工事中、地盤の転圧作業の際、地面に敷設する碎石を積んだダンプカーを作業帯内に停車させる ため、転圧作業を行っていたローラーがバックで移動したところ、作業帯の先の交差点で警備をしていた被災者が轢 かれ、死亡した。	170201	7	1～ 9
2014	8	16 ～ 17	工事現場にて、舗装工事を行うために使用していたタイヤローラーに轢かれ、死亡にした。	30106	7	30 ～ 49
2014	6	15 ～ 16	被災者が、工事の記録写真を撮影していたところ、アスファルトを固めるためのタイヤローラーがバックし、被災者 を轢いた。	30106	7	10 ～ 29
2014	4	13 ～ 14	アスファルト道路の路上再生路盤部をタイヤローラで転圧作業中、被災者は後退してきたタイヤローラの後輪に轢か れ、死亡した。	30106	6	10 ～ 29
2014	4	11 ～ 12	振動ローラーで路面を転圧する作業中、振動ローラーと地山に挟まれた状態の被災者が発見された。	30106	7	1～ 9
2015	8	13 ～ 14	農道を砂利転圧作業していたロードローラーのオペレーターが、後方にくぼみがあるのを見つけ、くぼみに砂利を詰 めるためにローラーから降車した。降車の際にギヤをニュートラルにして降りようとしたところ、ギヤに体の一部が 触れてしまいローラーが無人の状態で行進してしまった。ローラーの約7m前方にいた現場監督は気が付かずに無人 で行進してきたローラーにひかれた。	30106	7	1～ 9
2016	12	15 ～ 16	林道開設工事現場において、被災者が掘削した土砂を約300m離れた土捨て場までダンプで搬出していたが、施工 箇所へ戻ってくるのが遅かったため、他の労働者が探していたところ、既設林道の路肩から法長約36m下に搭乗式 振動ローラーが転落しており、その付近に被災者が倒れているのを発見された。	30106	1	10 ～ 29
		15	被災者は現場事務所から施工場所まで測量器具を徒歩で運んでいたところ、元請労働者が運転するタイヤローラーが 通ったため、当該タイヤローラーの左側面の搭乗用ステップに乗った。約100m走行した地点に約5cmの段差が			1～

2016	7	～ 16	あり、タイヤローラーが跳ねた。運転者は被災者の方を確認したが、見当たらなかったため後方を確認したところ、路上に被災者が仰向けで倒れていた。	30106	1	9
2016	4	16 ～ 17	次の日は天気が荒れるという予報が出ていたので、雨じまいのため当日の作業を早く切り上げ現場作業員全員で片付けに入ったが、自分の方付けに目途がついたので、一部未転圧の部分を自分の担当ではないが良かれと思いい路肩近くに停められていた振動ローラーで転圧作業をしようとしたところ、運転操作を誤り路肩からローラーもろとも勾配約30度の法面を8.4m下まで転落した。	30106	1	1～ 9
2016	3	16 ～ 17	河川局部改築工事において、悲鳴を聞いた同僚作業員が、仮設道路上の振動ローラー横に倒れている被災者を発見した。搬送先の病院で死亡が確認された。	30107	1	10 ～ 29
2017	12	10 ～ 11	新築マンション外構の駐車場舗装工事において、タイヤローラーによりアスファルトの転圧を行っていたところ、後進してきたタイヤローラーに轢かれて死亡した。	30201	7	10 ～ 29
2017	5	10 ～ 11	建設現場内に駐車されていたタイヤローラーが作業の支障となったことから、当該ローラーを運転して移動させていた。移動予定の位置に達したものの、当該ローラーが停止せず、そのまま工事現場内を98.2m走行し、法肩から約30m下の法下へ、当該ローラーとともに、当該ローラーの運転席に搭乗していた被災者が転落した。	30106	1	1～ 9
2017	2	12 ～ 13	コンバインドローラー（2.5t）をトラックの荷台上に乗せるため、当該ローラーを運転し移動させたところ、荷台上の左側に寄りすぎ、はみ出したため、バランスが保てず荷台左前方からローラーごと転落し、その下敷きとなって死亡した。	40301	1	1～ 9
2018	5	14 ～ 15	レストランの新築工事現場における駐車場舗装を行うため、車両系建設機械であるローラーを使用してアスファルトの転圧作業を行っていたところ、同作業を一人で行っていた運転者（被災者）が、同ローラーを後進させたまま運転席を離れ、同ローラーの下敷きになったというもの。被災者は、外傷性ショックにより、1時間後に死亡した。	30201	7	1～ 9
2018	3	16 ～ 17	農道の拡幅工事現場において、被災者が幅員2.5mに拡幅した道路を振動ローラーにより転圧作業中、路肩が崩れ、振動ローラーとともに法面（こう配30～35度）を約8m転落し死亡したもの。	30106	1	10 ～ 29
2019	3	14 ～ 16	道路補修工事（災害復旧工事）において、盛土した土砂を転圧する箇所、被災者がロードローラーを運転していたところ、路肩からロードローラーごと転落し、傾斜40度の法面を5.6m下ったところの擁壁上でロードローラーの下敷きになり、死亡した。	30106	1	30 ～ 49
2019	2	14 ～ 16	自動車道IC改築工事現場において、被災者が2.4tコンバインドローラーを運転し、前後方向に傾斜する路盤を後進にて転圧作業中、運転席の椅子が車体から外れて椅子ごと車体右側に投げ出され、前部鉄輪に轢かれたもの。病院に搬送されたものの、被災から約3時間後に死亡した。	30106	7	1～ 9
2020	12	8 ～ 10	被災者は、土手上において舗装工の準備として不陸整正作業を行うため、2.5tローラーを運転し移動させていたところ、土手下に転落して2.5tローラーの下敷きになり死亡した。	30106	1	1～ 9
2020	10	12 ～ 14	道路舗装復旧工事において、アスファルト舗装の締固めを行っていたコンバインドローラーに被災者が轢かれた。	30106	7	10 ～ 29
2020	5	18 ～	道路舗装工事において、交差点手前の矢印標示につき、被災者がしゃがんでチョークにてマーキングをしていたところ、アスファルトの締固めをしていたタイヤローラーが後進し、被災者が轢かれたもの。	30106	7	10 ～

		20			29
2020	1	16 ～ 18	橋梁の耐震補強工事において、河川内の「締め切り盛土」の天端部分（高さ約2.5m、幅員2.5～2.9m）を、振動ローラー（車両幅1.3m）で締め固める作業を行っていたところ、振動ローラーが路肩から転落した。路肩の下は勾配約33～34度の法面となっており、振動ローラー転落時に同ローラーを運転していた被災者が投げ出され、その後同ローラーが被災者の体上部を通過し、胸部を圧迫されたもの。	30199	1 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html